

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2033】

会計名称	農業集落排水事業特別会計				
事務事業名	細々目02 管路施設維持管理事業				
予算区分	款	01	事業費	所属	工務課
	項	01	業務費		
	目	01	管理費	連絡先	0594-49-2078
	細目	001	施設維持管理費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	管路施設 (管渠及びマンホール)	公民連携の前進
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	<p>○管路施設の施設修繕など維持管理を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 立田・太平地区 L=5,648m (153個) 維持管理1式 嘉例川地区 L=5,644m (182個) 維持管理1式 多度北地区 L=9,846m (240個) 維持管理1式 美鹿地区 L=4,000m (166個) 維持管理1式 古野地区 L=9,350m (432個) 維持管理1式 	<p>公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。</p> <p>○ ある ● ない</p>
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	<p>汚水処理施設に流入する管路施設を適切に管理し、正常な施設の機能を保持する。</p>	<p>理由</p> <p>重要なライフラインであり、緊急時の対応が必要となるため、公民連携で行うことは可能性が低い。</p>

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	管渠延長	m	34,488	34,488	34,488	34,488	
	マンホール個数	個	1,173	1,173	1,173	1,173	
活動指標	修繕延長	m	0	0	0	0	
	修繕個数	個	0	0	0	0	
成果指標	管渠機能不全・不具合延長	m	目標値 実績値	0 0	0 0	0 0	
	マンホール機能不全・不具合個数	個	目標値 実績値	0 2	0 0	0 0	
投入コスト	事業費計			0	3,371	166	500
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					0
		一般財源				3,371	166
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.03	0.05		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円		212	342			

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

供用開始後10年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっていることから、施設の長寿命化を進めるための計画を策定し、計画的に改築・更新等を行っていくことが重要である。また、将来的な施設の維持管理を見据え、公共下水道への接続替などの検討を行っていく必要がある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2035】

会計名称	農業集落排水事業特別会計				
事務事業名	細々目01 営業課一般管理事務				
予算区分	款	01	事業費	所属	営業課
	項	01	業務費		
	目	01	管理費	連絡先	49-2022
	細目	003	一般管理事務費		

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	市民、農業集落排水事業。	公民連携の前進 公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない 理由 市民の利便性、サービスの向上を図る観点から、引き続き民間のノウハウを活用し、業務を行っていく。
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	農業集落排水事業の窓口・受付、料金収納業務等に係る一般事務費。	
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	市民の利便性、サービスの向上。	

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	農業集落排水施設使用者戸数	戸			672	663	
活動指標	農業集落排水検針件数	件			4,047	3,971	
成果指標	農業集落排水施設使用料	千円	目標値		38,714	35,580	
			実績値		36,777		
投入コスト	事業費計			0	0	1,487	1,651
	財源内訳	国支出金	千円			0	0
		県支出金				0	0
		地方債				0	0
		その他				0	0
		一般財源				0	0
	所要人員 (正職員)	人工	0.00	0.00	0.00		
所要人員 (嘱託再任用)	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円				1,487	1,651	

進捗評価

(事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

農業集落排水施設使用料に係る営業関連業務であり、現状維持が妥当と考える。今後も引き続き、市民の利便性やサービスの向上を図るとともに、適正で確実な料金賦課徴収等の業務を遂行するため、民間事業者のノウハウを活用しながら、業務を行っていく必要がある。

事務事業評価表

平成28年度【27年度事後評価】

【2034】

会計名称	農業集落排水事業特別会計				
事務事業名	細々目04 施設整備事業（単独）				
予算区分	款	01	事業費	所属	工務課
	項	02	建設改良費		
	目	01	建設改良費	連絡先	0594-49-2078
	細目	001	施設整備費（単独）		

事業の概要

（事業の概要を対象、手段、意図で説明します。）

対象（誰、何に対してこの事務事業を行うのか）	公民連携の前進
処理区域内人口 （5処理区・・・立田・太平、嘉例川、多度北、美鹿、古野地区）	公民連携において、現状よりも民間が関与する幅を広げられる可能性はあるか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
手段（事務事業の内容、やり方、手順） ○全処理区（5処理区）の供用開始をしており、各戸で農業集落排水管（下水道管）に接続していただく。 ・公共汚水樹及び取付管設置工事を実施する。 H25実績 2件 H26実績 3件 H27実績 1件	理由 接続に関する内容について、住民との調整が必要なため、官民連携は困難である。
意図（この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか） 処理区域内の水洗化により、公共水域の水質保全が図られる。	

事業活動と成果

（上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。）

区分	指標名	単位	25年度	26年度	27年度	28年度当初	
対象指標	定住人口	人	2,340	2,306	2,273	2,273	
	水洗化人口	人	2,231	2,211	2,178	2,178	
成果指標	水洗化率	目標値	95.5	95.5	96.0	96.0	
		実績値	95.3	95.9	95.8		
投入コスト	事業費計			0	748	279	750
	財源内訳	国支出金	千円				0
		県支出金					0
		地方債					0
		その他					283
		一般財源			748	279	467
	所要人員（正職員）	人工	0.00	0.03	0.05		
所要人員（嘱託再任用）	人工	0.00	0.00	0.00			
人件費合計	千円		212	342			

進捗評価

（事務事業の成果と問題点・課題等をふまえて、今後の改革案について説明します。）

成果は計画どおりにあがっているか。

- あがっている
- 横ばい
- あがっていない

H28年度の方向性

- 拡充
- 休止廃止
- 現状維持
- 見直し
- 縮小

農村生活環境の改善及び公共水域の水質保全を図ることが重要であり、施設の適正な維持管理とともに、接続率向上に向けた未接続世帯への普及啓発活動を推進していくことが重要である。